



# 令和6年度 学校を良くするためのアンケート集計結果について

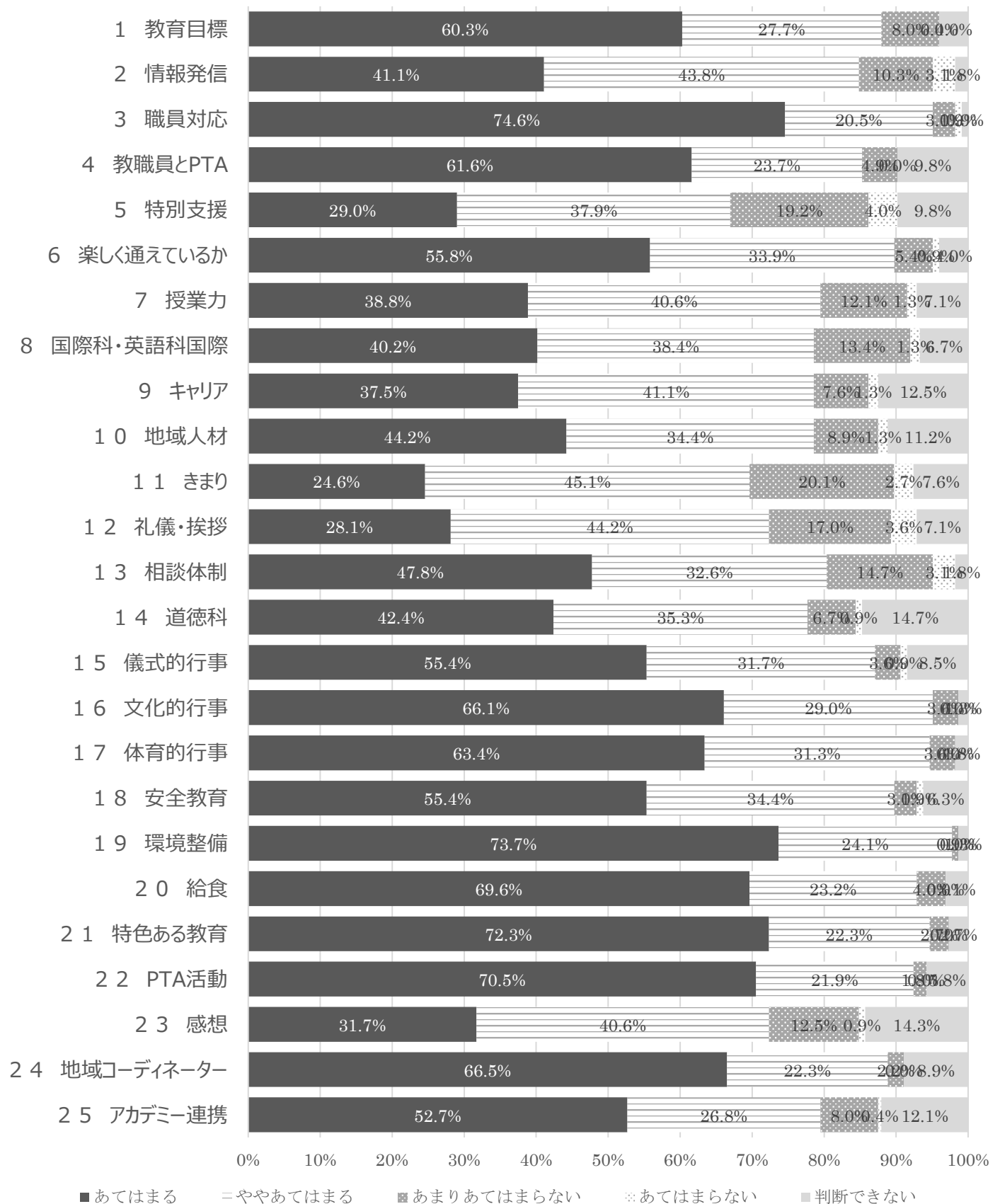
校長 大島 一浩

## 【質問一覧】

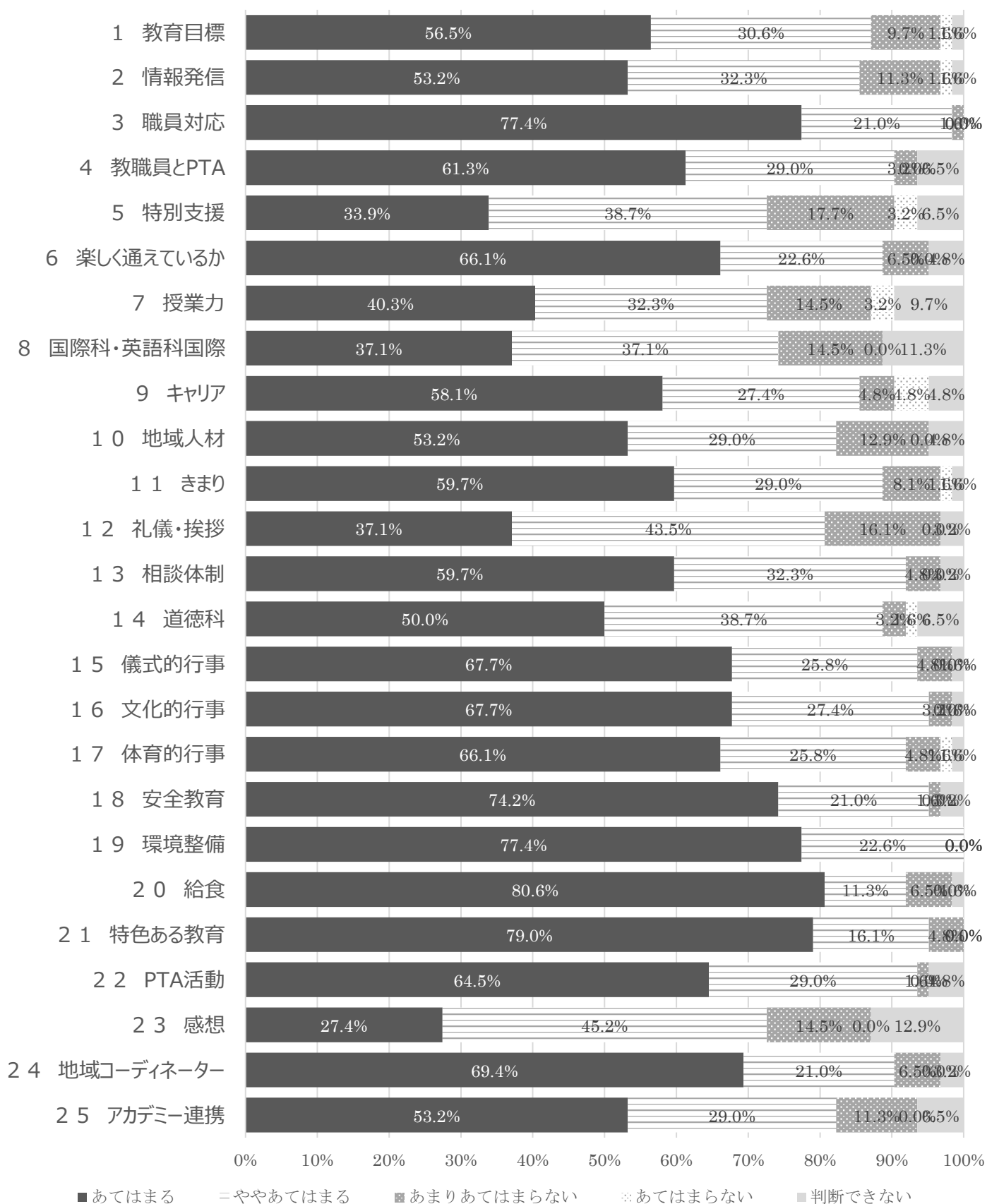
学校運営	1	本校の教育目標は分かりやすい。 （「心豊かで思いやりのある人」「自ら考え自ら学ぶ人」「心身ともに健やかな人」）
	2	学校は、ホームページや各種お便り等で、学校の様子をよく発信している。
	3	電話をかけた時や学校へ訪問した時の、教職員の対応は丁寧である。
	4	教職員は、PTA や地域の活動に協力的である。
	5	特別支援教育（さざなみ学級、そよかぜ教室、学習支援員）の情報は十分周知されているか。
学習指導・生活指導	6	本校の児童・生徒は、毎日楽しそうに学校に通っている。
	7	学校は、児童・生徒の学習意欲を高める授業が行われている。
	8	本校の児童・生徒は、「国際科」「英語科国際」の授業に意欲的である。
	9	本校の児童・生徒は、進路学習やキャリア教育に積極的に取り組んでいる。 （小学校での体験学習や社会科見学、中学校の職場訪問、職場体験など）
	10	学校は、外部の人材や機関と連携する授業を進んで取り入れている。
	11	本校の児童・生徒は、生活や学習のきまりを守って生活している。
	12	本校の児童・生徒は、気持ちの良い挨拶をしている。
道徳	13	本校の児童・生徒のことで心配なことがあった場合、学校に相談しやすい。
	14	道徳では、児童・生徒同士がよく話し合う授業が行われている。（道徳授業地区公開講座として公開しています。）
行事	15	本校の児童・生徒は、儀式的行事に対し、真剣に取り組んでいる。（入学式・卒業式など）
	16	学芸発表会、作品展等を通して、児童・生徒の文化的な活動の成果が分かる。
	17	運動会等の体育的な行事を通して、児童・生徒の体育的な活動の成果が分かる。
安心・安全	18	安全教育に対する取組が十分に行われている。 （各種避難訓練、セーフティ教室、お台場学園防災 Jr.ティームの取組など）
	19	学校施設は清掃等が行き届き、清潔で落ち着いた環境が整備されている。
	20	給食は、安全・栄養・味等を考えた献立で作られている。
その他	21	学校では、地域の自然等の環境を生かした特色ある教育活動を行っている。
	22	PTA は、学校の教育活動に積極的に協力している。
	23	保護者や学校関係者は、学校行事、授業公開等の事後アンケートに意見や感想を回答している。
	24	地域コーディネーターを中心として、地域は学校に協力的である。（サマーワークショップ、各種検定の試験監督、職場体験など）
	25	お台場アカデミーとして、幼稚園、保育園、小学校、中学校が連携した教育活動が行われている。（小学校でのプレスクール、中学校での保育実習など）

【アンケート結果について】

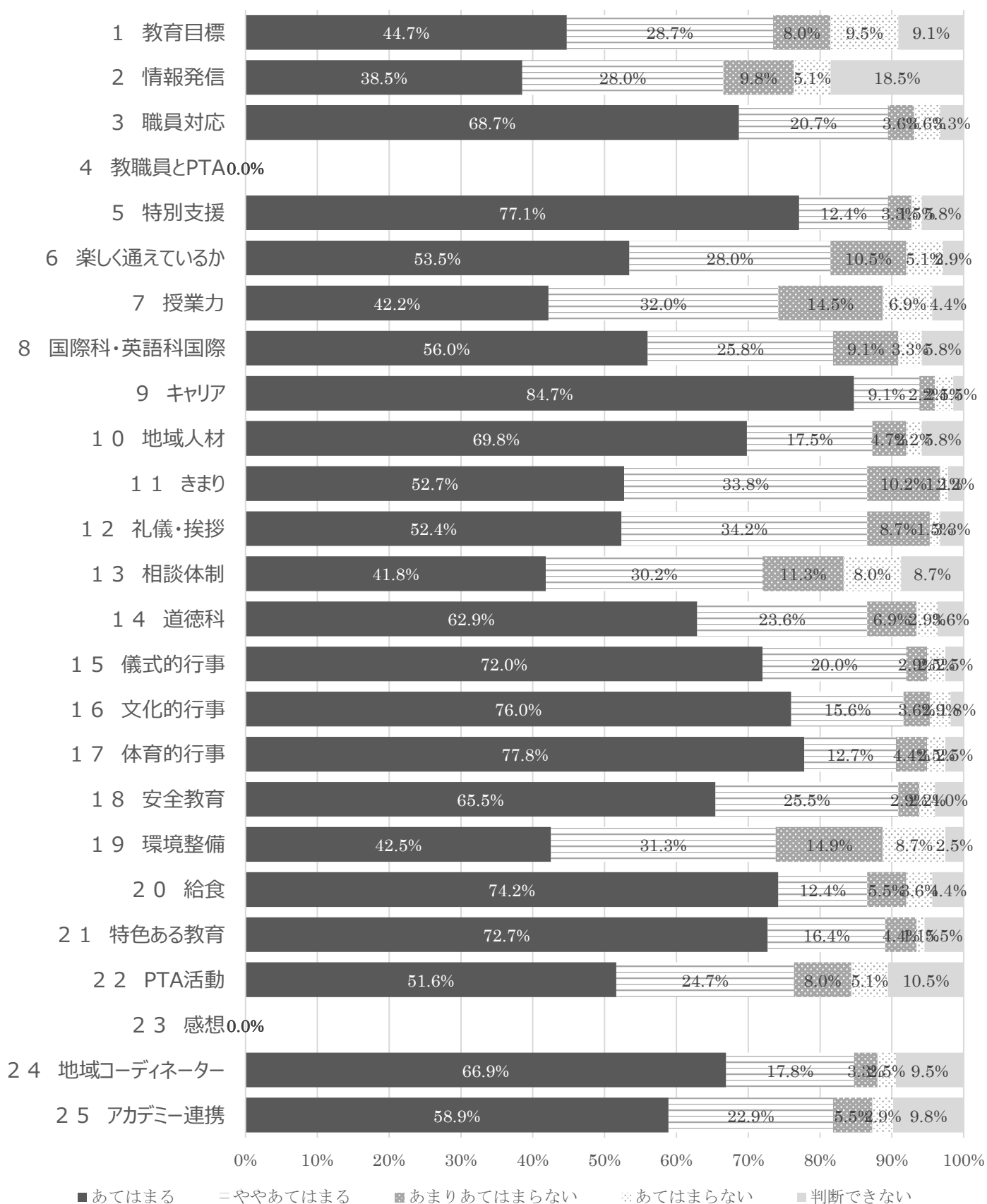
令和6年度 港区立小中一貫教育校お台場学園  
学校アンケート結果（小学校保護者）



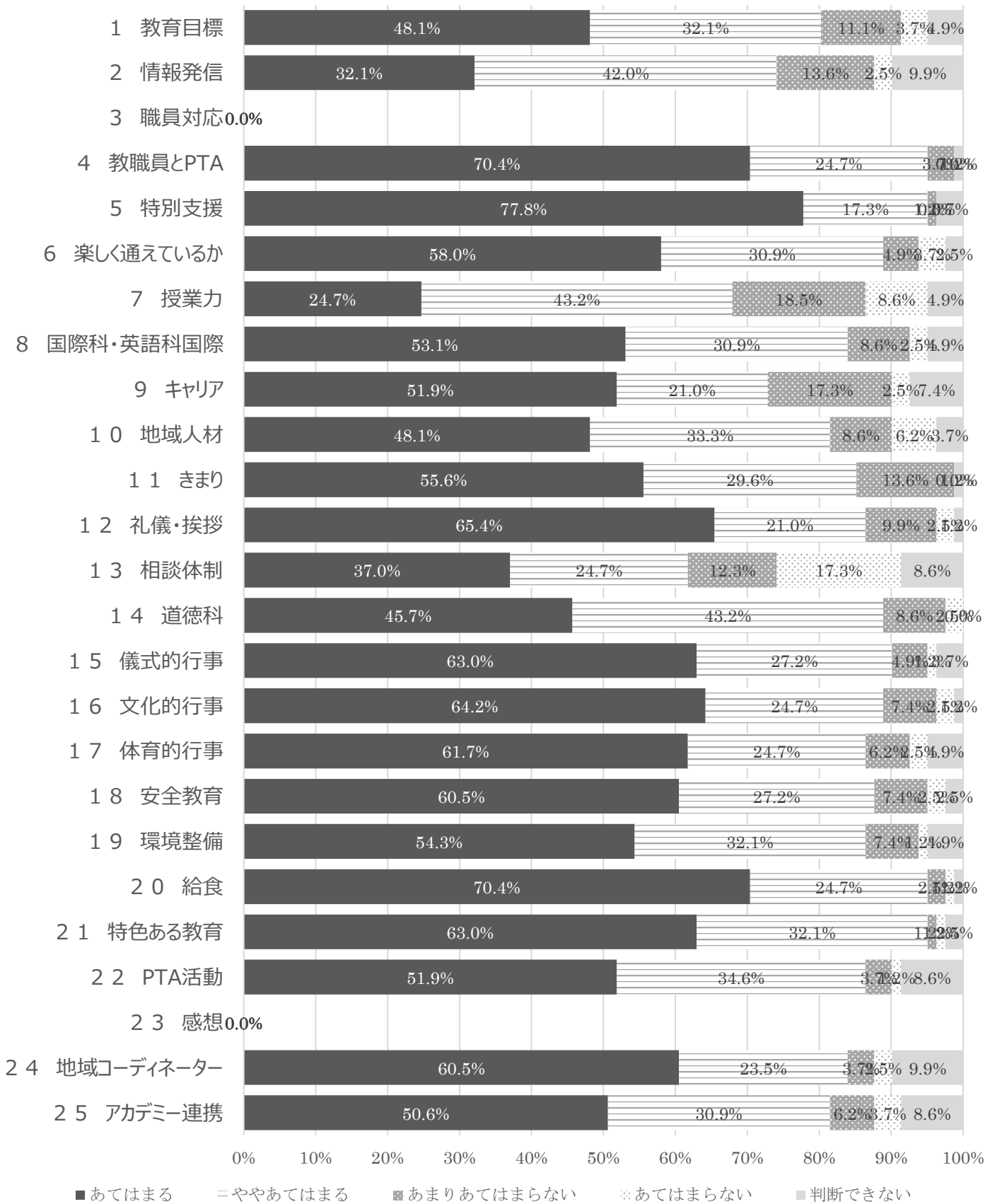
令和6年度 港区立小中一貫教育校お台場学園  
 学校アンケート結果（中学校保護者）



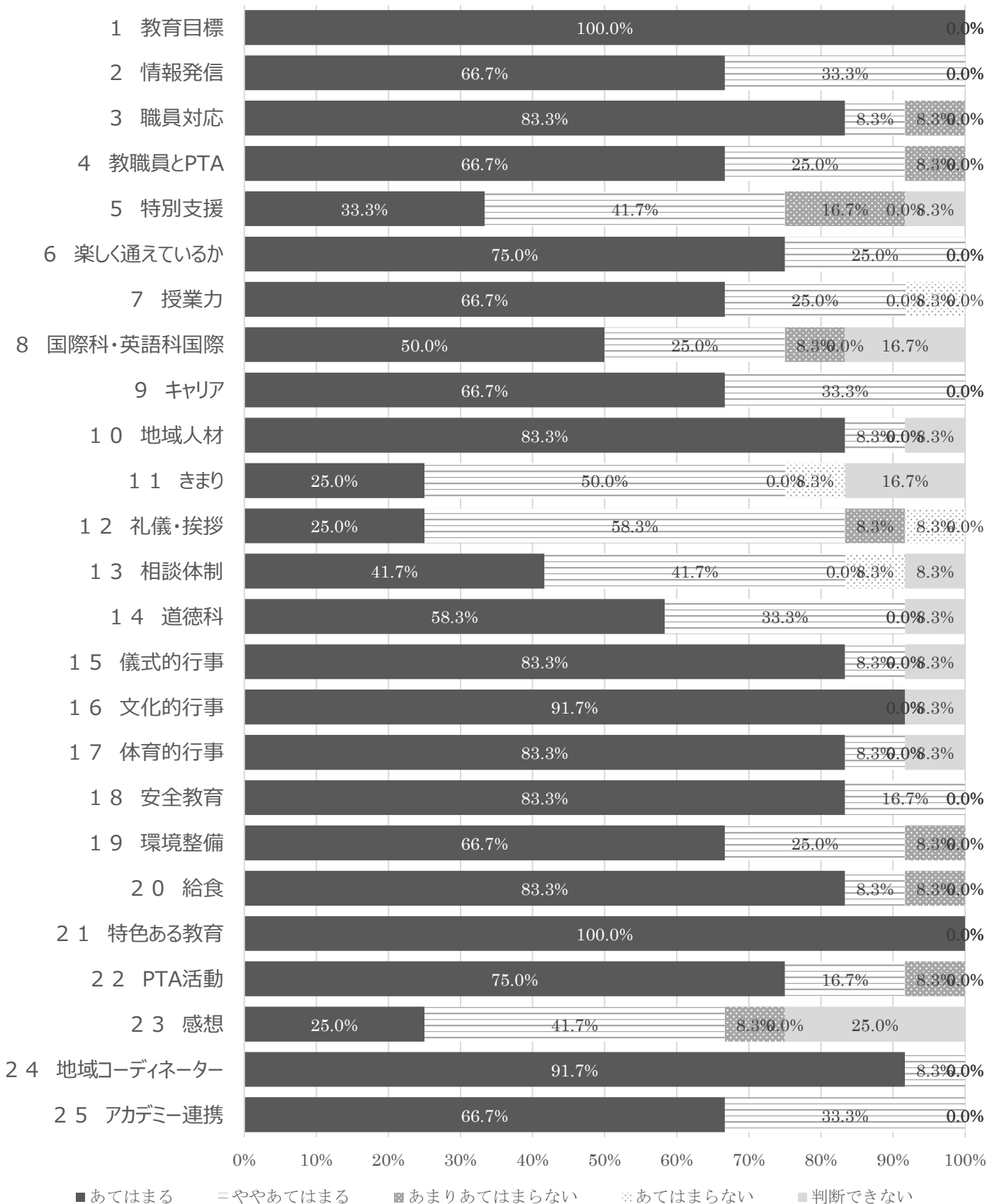
令和6年度 港区立小中一貫教育校お台場学園  
学校アンケート結果（児童）



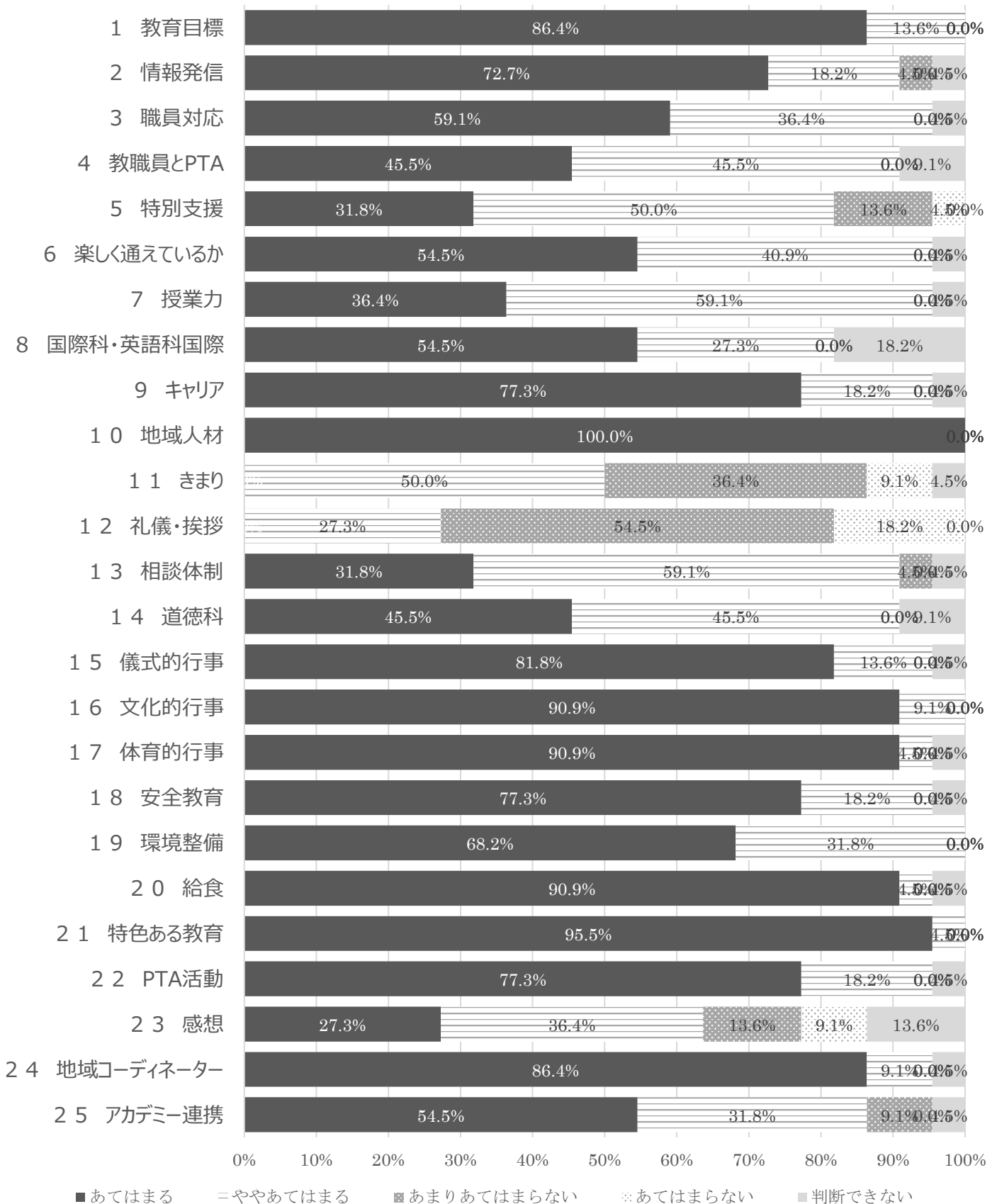
令和6年度 港区立小中一貫教育校お台場学園  
学校アンケート結果（生徒）



令和6年度 港区立小中一貫教育校お台場学園  
 学校アンケート結果（学校運営協議会委員）



令和6年度 港区立小中一貫教育校お台場学園  
学校アンケート結果（教職員）



【保護者・教職員からの回答による各平均値】

	学校運営					学習指導・生活指導							
	質問1	質問2	質問3	質問4	質問5	質問6	質問7	質問8	質問9	質問10	質問11	質問12	質問13
児童	3.2	-	3.6	-	3.8	3.3	3.1	3.4	3.8	3.6	3.4	3.4	3.2
生徒	3.3	-	3.6	-	3.8	3.5	2.9	3.4	3.3	3.3	3.4	3.5	2.9
小学校保護者	3.3	3.7	3.6	3	3.5	3.3	3.3	3.3	3.2	3.4	3	3	3.3
中学校保護者	3.4	3.4	3.8	3.6	3.1	3.6	3.2	3.3	3.5	3.4	3.5	3.2	3.6
保護者平均	3.35	3.55	3.7	3.3	3.3	3.45	3.25	3.3	3.35	3.4	3.25	3.1	3.45
学校運営協議会	4	3.7	3.8	3.6	3.2	3.8	3.5	3.5	3.7	3.9	3.1	3	3.3
教職員	3.9	3.7	3.6	3.5	3.1	3.6	3.4	3.7	3.8	4	2.4	2.1	3.3
保護者平均と教員の差	▲0.55	▲0.15	0.1	▲0.2	0.2	▲0.15	▲0.15	▲0.4	▲0.45	▲0.6	0.85	1	0.15

	道徳	行事				安心・安全			その他				
	質問14	質問15	質問16	質問17	質問18	質問19	質問20	質問21	質問22	質問23	質問24	質問25	
児童	3.5	3.7	3.7	3.7	3.6	3.1	3.6	3.7	3.4	-	3.7	3.5	
生徒	3.3	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	3.7	3.6	3.5	-	3.6	3.4	
小学校保護者	3.4	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.5	3.6	3.6	3.2	3.6	3.4	
中学校保護者	3.5	3.6	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.2	3.7	3.5	
保護者平均	3.45	3.6	3.65	3.6	3.7	3.75	3.65	3.65	3.65	3.2	3.65	3.45	
学校運営協議会	3.6	3.9	4	3.9	3.8	3.6	3.8	4	3.7	2.4	3.9	3.7	
教職員	3.5	3.9	3.9	3.9	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8	3	3.9	3.5	
保護者平均と教員の差	▲0.05	▲0.3	▲0.25	▲0.3	▲0.1	0.05	▲0.25	▲0.25	▲0.15	0.2	▲0.25	▲0.05	

評価について、A：あてはまる＝4点、B：ややあてはまる＝3点、C：あまりあてはまらない＝2点、D：あてはまらない＝1点、E：判断できない＝欠損値として得点化し、それぞれの回答項目における平均を算出した。

【分析についての変更点】

分析について昨年度から変更したことは、小中一貫校なのでアンケート回答者を「保護者」と一括りにするのではなく「小学校保護者」と「中学校保護者」に分けて点数化した。そして、「保護者平均」と「教員」とでは、どれくらいの差があるのか分析した。数値の平均を3.5と考え、その数値を基に低い、高いと分析した。

学校運営(質問1～5)

「1教育目標」については、教職員は3.9～4.0と高評価だが、保護者平均が3.35と▲0.55の大きな差が出た。来年度からは、本校の教育目標を毎月の学園だよりに記載して啓発する。



「3 教職員の対応」は、保護者平均が 3.7、教職員平均が 3.6 と保護者から高い数値である。日頃の教職員の丁寧な対応が評価されたと考えている。しかし、教職員は、数値的には高いものの、来客電話対応について、不十分と回答もあり、さらに親切丁寧さを心掛けて対応していきたい。

「5 特別支援教育」は、児童・生徒は日常的に関わりを深めているため、高い数値となっているが、保護者・学校運営協議会の数値を見ると、まだ、情報提供ができていないことを実感した。「さぎなみ学級」「そよかせ教室」の教育活動を学園だよりや X（旧ツイッター）等を活用し多角的に情報を提供していく。そして、教職員の数値も 3.1 と低いので、実践事例などをオンライン(Teams)で情報共有して周知していく。

### 学習指導・生活指導(質問6～13)

「6 学校に楽しく通えているか」は、児童は 3.3、生徒 3.5 との結果になった。児童については、様々な悩み等がいつでも相談でき、楽しく学べる環境づくりを行っていきたい。

「7 意欲を高める授業」が、児童・生徒が楽しく通える学校とも深く関わっているため、個を大切にしたい、児童・生徒が主体となって取り組む授業を展開していく。

「9 キャリア教育の取組」については、教員が 3.8、保護者平均 3.35 と▲0.45 と大きな差が出た。教員は、実践してきたことを伝えてきたつもりだったが、保護者まで周知できていなかったことが浮き彫りとなった。来年度は、さらに社会科見学や職場体験など、見たことや体験したことを学年だより等で周知していく。

「10 外部の人材や機関と連携」については、教職員が 4 であった。それに対して保護者は 3.4 と▲0.6 と大きな差が出た。各学年は、地域人材や企業からのゲストティーチャーを招き連携して効果的な指導している。しかし、それが伝わっていない現状が浮き彫りとなった。来年度は、保護者がよく目を通す学年だよりに、ゲストティーチャーが実施した授業の様子の写真を掲載し周知していく。

「11 生活のきまり」「12 挨拶」については、児童・生徒の数値に比べ、教職員の数値は低くなっている。きまりに対する教職員の意識を共通した徹底した指導に不十分さがあるのではという声もある。「挨拶」についても『あいさつ運動』等を行っているが、日常的に教職員が進んで挨拶をしたり、指導したりすることがされているか、学校サイドにも反省すべき点がある。「学校生活のきまり」を基に教職員が共通理解をした上で児童・生徒がきまりの大切さを理解できる丁寧な指導を根気強く行っていく。ただ、学校教育だけでは実現することは難しい課題でもあり、地域の活動と連携しながら、解決に向けた健全育成を図っていきたい。

### 道徳(質問14)

「14 道徳では、児童・生徒同士がよく話し合う授業が行われている。」は、全回答者の数値が 3.5 前後であり、まずまずの数値である。さらに、数値を向上させるために、道徳地区公開講座を参観してもらうための広報を積極的に行い、道徳授業を見てもらう機会を作っていく。

### 行事(質問15～17)

「15 行事」については、全回答者から 3.5 以上と高い数値となった。本学園の児童・生徒は行事に向けて、目標をもって活動し、集団での取り組みについても一致団結し、大きな達成感を得ている。学校だけで取り組めないこと

も多い中、保護者・地域のご協力には感謝している。このお台場の一体感が児童・生徒を育てている喜びを様々な行事から感じている。

### 安心・安全(質問18～20)

「18 学校施設は清掃等が行き届き、清潔で落ち着いた環境が整備されている」については、児童が3.1と低い数値となった。ほぼ毎日実施している清掃活動では、学級を中心に落ち着いた環境が整備できるように清掃指導に力を入れていく。

「20 給食」については、全回答者とも高い数値となった。工夫した献立や栄養バランスなどが高い数値となったと考える。

### その他(質問21～25)

「24 地域コーディネーターを中心として、地域は学校に協力的である。」については、保護者平均が3.65、学校運営協議会と教職員が3.9と高い数値となった。地域コーディネーターを中心に、多くの方々が、児童・生徒のために、マラソン大会やビーチバレーボール、海苔づくり等のお手伝いや一緒に活動をしてくださっていることへの評価と考えている。今後も保護者・地域・教職員が連携した活動を行っていききたい。